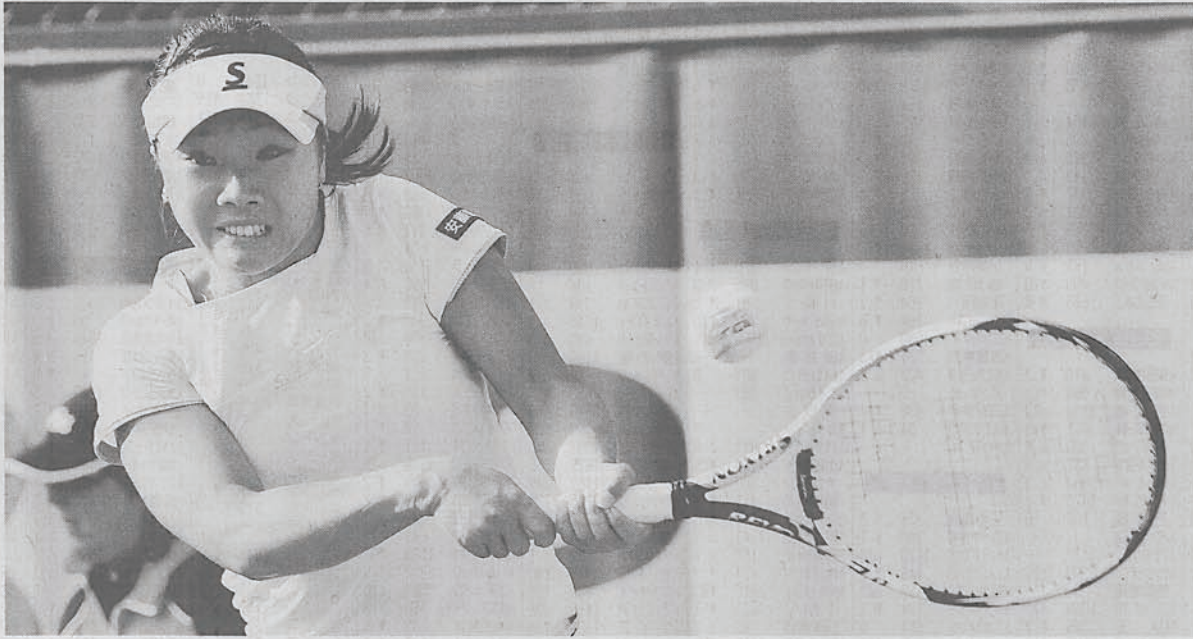


奈良が全仏初勝利



テニスの全仏オープン第3日は27日、パリのローランギャロスで女子シングルス1回戦などが行われ、今年の全豪覇者の李娜(中国)がクリスティナ・マダナビッチ(仏)に5-7、6-3、1-6で敗れる波乱があった。クルム伊達公子(エステティックTBC)はアナスタシア・パブリュチェンコワ(ロシア)に3-6、6-0、2-6で敗れた。第2日の26日には、世界ランキング44位の奈良くるみ(安藤証券)が同一11位のアンナ・タチシビリ(米)を6-1、6-4で下して全仏初勝利。男子シングルス1回戦では全豪優勝のスタニスラス・ウウリンカ(スイス)が敗退した。

読売新聞 2014年5月28日

欧州転戦 クレー経験積む

奈良くるみの四大大会本戦の成績

	2014年	13	12	11	10
全豪	3回戦	-	-	-	-
全仏	?	-	-	-	1回戦
ウィンブルドン		-	-	-	2回戦
全米	3回戦	-	-	-	不出場

(-は予選敗退)

鮮やかなフォアハンドでストレート勝ちを決めた奈良に笑顔がはじけた。「気持ち強く持って戦おうと考えていた」。4年ぶりに出場した全仏オープン本戦で初勝利をつかんだ。

最後まで攻めの姿勢を貫いた。相手の粘りに苦しんだ第7ゲームをキープして第1セットを競り勝つと、第2セットはバックハンドショットもさえ、つかんだ流れを放さなかった。

赤土のクレーコートで行われた2月のリオデジャネイロの大会でツアー初優勝

を挙げ、クレーでのプレーに手応えをつかんだ。今大会に向けては、マドリッドやローマなど欧州の大会を転戦。クレーで実戦を積んできた。

全仏は、2010年に初めて四大大会の本戦に出場した、思い出深い大会。その翌年から四大大会で予選敗退を繰り返してきたが、昨年の全米、今年1月の全

豪で連続して3回戦に進み、今は日本女子最高の世界ランキング44位につける。

「ハードコートでの速い展開が得意だが、クレーはハードより球足が遅いのので、様々な球種を使って戦う訓練になる」と原田夏希コーチ。22歳にとって、今大会はさらなる成長へのステップになりそうだ。

(パリ 大野展誠)